

相 談 事 例

ID：01-03-020

相談タイトル

開口部高さの設計ミスに係る対応について

Q：ご相談内容

自宅注文住宅建設において設計者のミスで玄関開口の高さを間違え、玄関ドアを設置するのに木を足してドアを納めると言われた。
玄関ドアは、輸入した木製ドアでかなり重量がある。下地を打ち付けて木を入れるから大丈夫と説明されたが、長い年月の中でそのことが原因になり、ゆがみなどが生じるのではないかと不安に感じている。そのような修補で大丈夫なのか。また、設計者の方は自分のミスをあまり深く感じていない。

A：回答

現地を確認していませんので、話の内容からだけで大丈夫かどうかの判断を行うことは難しいところがあります。不安に感じているのであれば、ひとつの方法として、第三者の建築士に現地を見てもらい判断をしてもらう方法もあります。

木造住宅の開口部ドアやサッシについては、まぐさや窓台など建具を取り付けるための下地材を基本的に設けますので、玄関開口寸法を間違えたとする
とまぐさの取り付け位置を変更することになりますが、補強を考慮し丁寧に施工すれば補修を行うことで対応できると考えます。開口寸法をミスした設計者があまり状況を感じていないということだと、相談者の方が懸念されていることを伝え、対応方法について納得のいく説明を受けて頂くことが良いと思います。